

京都大学重点事業アクションプラン 2006～2009

京都大学では、2006年から2009年の4年間において重点的に取り組むべき事業について、「京都大学重点事業アクションプラン 2006～2009」として策定し、計画的に実行していくこととしました。

【平成18・19年度着手事業】

教育 推進事業

KULASISの全学展開事業
教育環境改善事業
オープンコースウェア(OCW)支援プロジェクト

研究 推進事業

若手研究者支援策
女性研究者支援策
研究推進戦略活動経費
学内設備共同利用センター(仮称)の設置
国際交流および国際交流のための研究拠点形成
耐震改修に伴う工学部土木総合館改修工事費

学生 支援事業

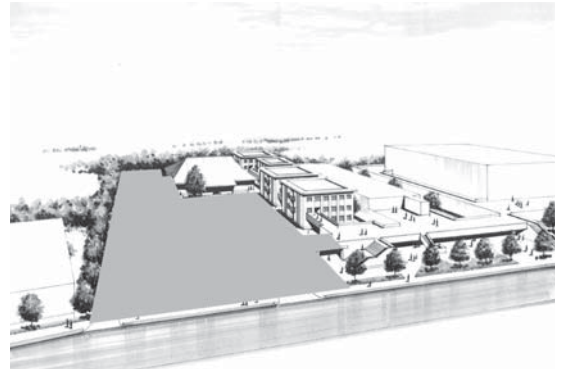
学生交流スペース(仮称)の創設
課外活動の活性化
全国七大学総合体育大会関連施設・設備の整備
課外活動施設(ボックス棟)の建替え
「白浜海の家」の建替え
身体に障害のある学生の支援の充実
福利厚生設備の整備
京大黄檗プラザ(仮称)構想
稲盛財団記念館新設に伴う課外活動施設の整備事業

医療 支援事業

看護体制の拡充支援
診療設備の整備

広報・社会 連携事業等

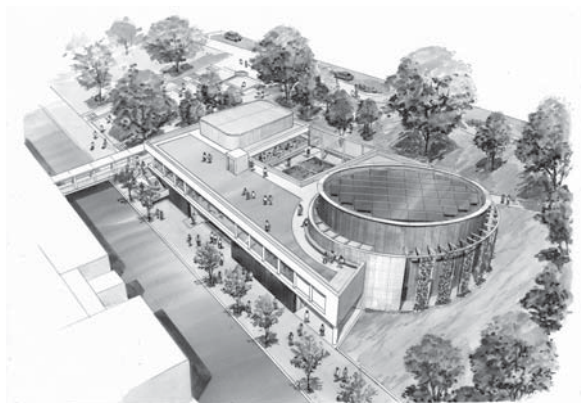
清風荘庭園の整備活用構想
環境マネジメントシステムの導入
男女共同参画推進事業
事務改革推進のための業務分析の実施
勤務時間の適正な管理のためのシステム開発・導入
全学同窓会設立・運営のための立ち上げ事業
ビジュアルな大学広報の実施
海外の大学の財務状況調査と財務戦略施策の公募
施設耐震診断調査
職員宿舍整備計画
(宇治：11号棟建替え、10号棟改修)



課外活動施設(ボックス棟)の予想図



女性研究者支援センター



京大黄檗プラザ(仮称)の予想図

【今後検討を行う事業】

研究 推進事業

大型研究設備の充実
外国人研究者宿泊施設
文学部東館の有効活用整備
柱キャンパス整備事業
世界トップレベル国際研究拠点形成加速パイロット事業

学生 支援事業

吉田寮の建替え
国際交流会館の整備(宇治)
室町寮の建替え

広報・社会 連携事業等

楽友会館再生プロジェクト
熊野宿舍等再開発構想

各種戦略的経費

京都大学では、教育・研究・医療活動の個性化と活性化のために戦略的・重点的に配分する経費を充実させ、総長や役員会のイニシアティブと責任によって特定課題の教育・研究・医療活動ならびにそれらを支える基盤体制へ重点的に予算を配分しています。

これら戦略的経費は、右のとおり全学経費、戦略的・重点的配分経費、教育研究活性化経費、産学官連携推進経費、目的積立金により構成されています。なお、「京都大学重点事業アクションプラン2006～2009」は、重点戦略経費および目的積立金を活用し実行することとしています。

各種戦略的経費		
経費名称	使 途	
全学経費	全学共通経費	○本学の教育研究医療活動を一層発展させるため大学として支援が必要な事業 (教育研究医療環境整備、教育研究活動支援、キャンパスライフ支援など)
	全学協力経費	○各部局における教育研究医療活動を一層発展させるため大学として支援が必要な事業 ○中型設備(概ね2千万円～1億円)の更新・購入
戦略的・重点的配分経費	総長裁量経費	○教育研究改革・改善プロジェクト経費 ○教育基盤設備充実経費(概ね2千万円以下)など
	重点戦略経費	○全学的な重点戦略に基づき役員会で精選する教育研究医療活動に対して措置 (教育推進事業、研究推進事業、学生支援事業など)
	学内貸付資金	○部局において、資金調達が困難な施設設備の整備等のために、一時的に多額の資金を必要とする事業計画を支援
	基盤強化経費	○設備等維持費
教育研究活性化経費	○競争的資金の獲得に向けての取組みを支援	
産学官連携推進経費	○産学官連携の推進に向けての取組みを支援	
目的積立金	○教育研究及び診療の質の向上並びに組織運営の改善に充てる経費 (教育研究施設の充実(改修、建設)、大型設備(概ね1億円以上)の更新・購入 など)	

資金運用

京都大学では、事務の効率化や、不適切な経理の防止のため、寄附金を含めた資金を一元管理しています。この一元管理された資金をもとに、国債による長期運用及び譲渡性預金による短期運用を図っています。平成 18 事業年度の運用益は約 1 億円で、平成 17 事業年度より約 8 千万円の増となりました。

区 分	金 額
国債による長期運用	32 百万円
譲渡性預金による短期運用	71 百万円
合 計	103 百万円

施設の整備

平成 18 事業年度の施設費として、約 64 億円を新たに計上し、総合研究棟(工学系)等の改修、霊長類研究所リサーチ・リソース・ステーション*の整備などを行いました。

なお、平成 18 事業年度は、これまで宿舍であった建物を有効利用するため、女性研究者の包括的支援を目的として設立した女性研究者支援センターのセンター建物や、附置研究所・センターの連携交流拠点「京都大学吉田泉殿」として改修を行い、いずれも平成 19 事業年度より利用を開始しました。



*リサーチ・リソース・ステーション

京都大学霊長類研究所の官林キャンパスから東に約 2 km の善野野地区の約 70 ヘクタールの土地に、豊かな自然を活かした環境共存型大型放飼場をつくり、多様な霊長類研究を推進していくとともに、新たな研究用サル類の創出・育成を行うものです。

京都大学基金

21世紀の京都大学は、世界的に卓越した「知の創造」を行うとともに、次代を担う創造的で優れた研究者と教養豊かで高度の専門能力を備えた人材を社会に送り出す決意を新たにしています。その実行のためには、将来にわたって安定的な財政基盤の確保が不可欠であり、大学の創意工夫をいかにするための資金の確保が必須になっていきます。

平成19年3月、京都大学は、教育研究環境の整備や学生支援等の充実などのための財源基礎整備に資することを目的として「京都大学基金」を創設しました。

なお、本基金の創設に伴い、湯川・朝永生誕百年記念募金事業の窓口を京都大学基金の中に組み入れました。



京都大学基金ホームページ
<http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp>

主な使途

大学全体で活用する場合		
キャンパス整備	施設整備	教育、研究環境の充実 体育館・グラウンド等の施設環境整備
	アメニティの向上	緑化計画の推進、駐輪場・歩道等の整備
教育研究支援	教育環境の充実	教育環境の充実
	若手・中堅研究者支援	研究費の助成
	研究環境の整備	研究環境の整備充実
	基礎研究支援	基礎研究部門の支援
	応用研究支援	応用研究部門の充実
国際交流事業	国際交流活動	国際シンポジウム開催等 学術交流の推進 外国人研究者の招聘
	研究国際活動	教員の海外派遣
社会連携事業	社会・地域への貢献	社会・地域との連携強化 公開講座、講演会の開催
	卒業生との連携	ホームカミングデイの実施
特に学生支援のために活用する場合		
学生支援	奨学支援	本学独自の奨学金制度の創設
	研究支援	学会発表、フィールドワーク研究の支援
	課外活動助成	クラブ活動の活性化促進
	学生表彰	総長表彰による奨学金制度の導入
学生支援 (国際交流事業)	研究国際活動	大学院生の海外派遣
	海外留学支援	協定大学等への留学支援
	留学生支援	留学生の奨学金制度等の整備
湯川・朝永生誕百年記念募金事業に対する場合		
「京都大学湯川・朝永奨励賞」授与事業	全ての分野の基礎科学に携わる、特に創造的・独創的な成果を挙げた若手研究者を対象として、別に設置する京都大学湯川・朝永奨励賞選考委員会（仮称）において選考の上、表彰と賞金の授与を行う。	
その他募金の趣旨にふさわしい記念事業	湯川・朝永両博士が学んだ京都大学内に記念モニュメントを設置するなど、募金の趣旨にふさわしい記念事業を行う。	